

2024年も 残すところ2週間余りとなってしまいました。この時期になると 時の速さをしみじみと実感しますが、年々 そのスピードが増している気がして…毎年 呆然とする年末です。この1年、子ども達はそれぞれに様々な経験を通して、心も身体も豊かに頼もしく成長しました。同じ時を与えられながら 確実な歩みで前進している子ども達と、相変わらずの自らの姿を比べ、反省し自戒するこの頃です。時の貴さを今一度想い、2024年の残りわずかなひと時ひと時がクリスマスの喜びを分かち合う宝物として、皆の心に残る温かな日々を過せるよう願っています。

さて 先日のクリスマス保護者会には、お忙しい中 貴重な時間を繰り合わせてご参加くださり 温かな御協力和御理解をありがとうございました。お寄せ下さったアンケートも感謝いたします。毎年、この保護者会は“プレクリスマス”のようなかたちで、これから迎えるクリスマスを想い 子ども達が保育園と同じように お家でも保護者の方と一緒に楽しみながら“心静かに待つ時” “ほんとうのクリスマスの意味”を感じられるように…という趣旨を大切にしています。今年も“お家の人達が来る”というこの日を 子ども達は少し前から それはそれは楽しみにして サプライズのプレゼントを喜んでもらおうと、小さな手と心をいっしょうけんめいに使いながら 皆で準備してきました。それに加え、幼児クラスの子ども達は 大好きなクリスマスの讃美歌を 大好きなお父さんやお母さん達に 絶対に聞いてもらいたい！！と、とても張り切っていました。当日は いつも以上に満面の笑顔で ほんとうに嬉しそうでした。「全然ドキドキしなかったよ」と終わった後も満足そうで、その姿は皆 とっても可愛いらしくて 喜びと自信に満ちていました。その様子にふと、りす組とねこ組の子ども達にも登場してもらってもよかったかなと思いました。来年からは 状況が大丈夫であれば、コロナ以前の 従来のプログラムに戻したいと考えています。子ども達が中心となり取り組む 本来のクリスマス保護者会をどうぞ楽しみにしててください。

当日 お話しました通り、今月初めの日曜日(12/1)より 全世界のキリスト教教会や施設で クリスマスを待つための『待降節』(Advent Week)の4週間が始まっていますが、今年はずのふえ保育園では 世界にちょっぴり先駆けて 11/29(金)に アドベントを迎えました。アドベントクランツに 毎週1本ずつのキャンドルを立てていく中で、先週 3本目が灯りました。1週ごとに1本ずつキャンドルに火が灯され明るくなっていくその温かな炎は 希望の光であり、クリスマスの訪れの喜びへと繋がっていきます。…残るは1本！間もなくクリスマスの訪れです。

各クラスでも、それぞれにアドベントカレンダーを飾って楽しんでいます。「みんなのところへ天使さんが来たら…」と毎日 嬉しそうに 心をワクワク ドキドキさせながら待ち望んでいます。その子ども達の無邪気で愛らしい姿に 待つこと・信じることの素晴らしさを 毎回思わされます。

今年も 年長組の子ども達と クリスマスの出来事を皆に伝える “Pageant (ページェント)” を行っていますが、ワイワイ楽しむ “ごっこ遊び” から、メッセンジャーという伝える立場へと意識を変えていく重要な転換期へ 先週末から入りました。これからは 遊びではなくなること。2024年前の ユダヤの国の ほんとうの出来事を伝えるためのリアル(真実)を追及すること。それを伝えた途端、子ども達の取り組み姿勢が それまでとは驚くまでにガラッと一変しますが、その前の段階として、登場人物について皆のイメージを一つにするため、それぞれが想っている各人物像を互いに出し合いました。その中で ただ一人、イエスさまの命を狙う悪い王様だけは全員が非常に厳しい表情に変わり、辛辣な表現や否定する言葉が たくさん飛び交っていました。「神様を信じてない」「自分勝手」「自分が一番いいと思っている」「人のことを想わない」「怖い」「悪い言葉を人に言う」「大声で怒る」「いつも怒っている」「自分のことしか考えない」等々…これを聞きながら、子どもの見極めるまなざしの鋭さを知らされ、背筋が伸びる思いがしました。子どもは 悪というものをちゃんとわかっていること、自己中心こそが人間の最も醜い姿であるとはっきりと的確な表現で言い切っていたことに 人として考えさせられる機会にもなりました。加えて、王様も含めたこれらすべての存在がなければ、赤ちゃんイエスさまは生まれなかったとひとりひとりの存在価値の貴さについて、そこに込められた 大事な意味である その“必然性”ということも 毎回のページェントの中でしっかりと感じ 捉えられていたことも 感心しました。子ども達は このメッセージを携えて、今年のクリスマスのメッセンジャーとしての使命を担い、2024年前の、赤ちゃんイエスさまのお誕生の出来事をまっすぐに いるか組らしく伝えます。9人の仲間が 互いを想い合い、祈り合い、力を出し合い、心を重ね合って 取り組んでいる姿はほんとうに温かく微笑ましいです。私達のために この世にくださった神様からのプレゼントのイエスさまのお生まれを 年長組の姿を通して、共に喜び感謝しながらお祝いしたいと思います。尚、今年の りす組・ねこ組の ミニ・クリスマス礼拝(17日)においては、子ども達と一緒に DVD「おめでとう イエスさま」の観賞を予定しています。どうぞ ご了解ください。今年もクリスマスの光が、世界中の人々の心に温かく注がれて神様の愛で優しく溢れますようにすべてのひとりひとりの上に、大いなる平安と豊かな祝福を 心からお祈りします。(石田 記)

「その名は インマヌエルと呼ばれる。(神は私たちとともにおられる。という意味である。)

(マタイの福音書 1:23)」